

答え合わせ・解説

問1	答え 1 果樹園	大正時代初期の地形図を確認すると、現在の松濤周辺は「鍋島農場」として利用されており、地図上には果樹園を示す記号が広がっていました。この地名は、明治維新後に旧佐賀藩主の鍋島家が茶園や果樹園を営んだことに由来しています。当時の郊外農地が、その後の時代を経て現在の姿へと移り変わっていった歴史的背景があります。
問2	答え 4 出版社や放送局が数多く立地し、情報の加工やメディアに関連する需要が非常に大きいため	東京都の工業は、鉄鋼や石油・石炭製品といった重化学工業を中心とする地域とは異なり、出版物や広告などの印刷業、パソコンや通信機器などの情報通信機械といった、情報の流通や消費に関連する分野の割合が高いことが大きな特徴です。これは、政治や経済の中心地として、情報の発信源となる施設が集中しているという都市機能と密接に関係しています。
問3	答え 1 ベッドタウン	東京都心への通勤・通学者が多いため、夜間に比べて昼間の人口が減少する地域は、寝に帰る場所という意味で「ベッドタウン」と呼ばれます。埼玉県や千葉県などの東京近郊の県では、昼夜間人口比率が100%を下回る傾向が顕著であり、これは都市の過密化を背景に郊外の宅地開発が進んだ結果です。
問4	答え 2 その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加える。	昼間人口は、夜間にその地域に居住している人口（常住人口）をベースに算出されます。日中の人の動きを反映させるため、まず仕事や学校のために地域外へ出て行く「流出口」を差し引き、次に他地域から仕事や学校のためにその地域へ入ってくる「流入人口」を足し合わせます。この結果、オフィス街のように流入する通勤者が多い地域では、昼間人口が夜間人口を大きく上回ることになります。
問5	答え 1 都市部から移り住んだ若い世代による核家族世帯の入居が同時期に集中したため	高度経済成長期、東京などの大都市圏では就職のために地方から若者が流入し、深刻な住宅不足と人口過密が問題となっていました。これに対応するため開発された多摩ニュータウンには、1970年代半ばにかけて、結婚を機に親と離れて暮らす「核家族」世帯が一斉に入居しました。同年代の若い夫婦が同時期に子育てを始めたため、特定の時期に地域の出生数がピークを迎えることとなりました。
問6	答え 4 前橋市	関東地方の中で新潟県と隣接しているのは群馬県のみです。群馬県の県庁所在地は前橋市ですが、県内で人口が多く交通の要所である高崎市と混同しないよう注意が必要です。ちなみに、栃木県の県庁所在地は宇都宮市、茨城県は水戸市です。
問7	答え 1 夜間人口100人に対する昼間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく下回っている。	昼夜間人口比率は「(昼間人口÷夜間人口)×100」で算出されます。埼玉県は、夜間人口が約719万人に対し、昼間人口が約637万人と大きく下回っており、比率は90人を割り込んでいます。これは、日中に県外へ通勤・通学する人口が、県内へ入ってくる人口よりも圧倒的に多いことを示しています。
問8	答え 1 周辺地域から通勤や通学のために多くの人々が流入するため	東京都や大阪府などの大都市部には、官公庁、企業のオフィス、大学などの教育機関が集中している。そのため、居住地である周辺の県から、日中に仕事や学業のために多くの人々が移動してくる。この「流入」によって、夜間に住んでいる人数よりも日中に滞在する人数の方が多くなり、昼間人口比率が100%を超えることになる。逆に、周辺の県は居住機能が中心となるため、比率が100%を下回ることが多い。
問9	答え 2 ターミナル駅	英語の「Terminal（終点）」に由来し、多くの鉄道路線の始発・終着点となる駅を指します。日本の大都市圏では、郊外からの通勤・通学客が集まる交通の結節点として機能し、駅周辺には百貨店などの商業施設が集積します。ハブステーションは主に航空網の拠点空港を指すことが多く、ジャンクションは高速道路などの合流・分岐点を指す用語として使われます。
問10	答え 4 沼田駅付近から北東にある沼田城跡（公園）に向かうには、等高線が密集している急な斜面を登る必要がある。	地形図において等高線が密集している部分は傾斜が急であることを示します。標高約331mの駅付近から、標高417m以上の城跡（公園）へ移動するには、段丘崖と呼ばれる急斜面を通過しなければなりません。川は高い方（北東）から低い方（南西）へ流れるのが自然であり、また、歴史的な市街地は水害を避けるために段丘上の高台に形成されています。
問11	答え 2 政令指定都市に指定されており、臨海部の再開発地区である「みなとみらい21」には商業施設や国際会議場が集まっている。	横浜市は、人口50万人以上の要件を満たし、都市としての規模や能力が認められた「政令指定都市」です。かつて造船所や貨物駅があった臨海部を、都市機能の強化を目的に「みなとみらい21」として再開発し、オフィス・商業・文化施設が集まる新しい中心市街地へと変貌させました。選抜肢にある「幕張新都心」は千葉市の再開発地区です。
問12	答え 4 住宅価格が高い都心部を避けて周辺の県に住み、そこから通勤・通学する人が多いため、東京23区の昼間人口が夜間人口を大きく上回る。	東京23区は地価が非常に高いため、居住地を地価の安い周辺の県に求める「ドーナツ化現象」が見られます。その結果、埼玉県から約86万人、千葉県から約72万人、神奈川県から約90万人といった大規模な人口流入が毎日発生し、昼間人口が夜間人口の約130%に達するという構造になっています。このような都市の機能や住宅事情に伴う人口移動は、都市地理学における重要な特徴です。